

国労東海

国鉄労働組合
東海エリア本部
東京港区新橋5-15-5
交通ビル4階
発行責任者 杉本洋一
編集責任者 小山謙一

職場活動を活性化し組織拡大へ

各地本大会 広範な共闘で安倍内閣の暴走ストップへ

静岡・新幹線・名古屋の地方本部大会が9月13日に開催されました。それぞれの大会では、「春闘での取り組み」「職場三大運動」「分会活動と組織拡大」「リニア新幹線問題」等、多岐にわたる課題での発言がなされ、運動方針が確認されました。

静岡地本

静岡地方本部第69回定期地方大会は、静岡労働会館で開催されました。

冒頭、長岡委員長は、「集団的自衛権行使容認、特定秘密法、労働法制改悪、原発再稼働、消費税増税など、安倍政権の暴走にストップを掛けるため、学習し、平和と民主主義、労働者の生活と権利を守る闘いを広範囲な仲間と作り上げていくことが大切」「職場の労働条件改善は組合員同士が集まり議論を重ね、他労組合員の要求も汲み上げ獲得を目指すことが重要で、喫緊の課題である組織拡大にもつながっていく。全組合員が心を

一つにした取り組みの強化は待たなし。そして、青年に国労運動を継承していかねばならない」と挨拶しました。

討論では、「合理化事案等の検証・要求作りには職協の役割が重要」「CTC指令の列車遅延時対応の改善」「専任社員の要求」「出向先関連会社の労働条件改善」「貨物会社の賃下げ攻撃・期末手当低額回答に客・貨一体となった取り組みの強化」等の発言があり、全ての代議員から「職場・分会活動を強化し、組織拡大を全力で取り組む」と報告されました。

大会方針案を全員で確認して、長岡委員長の団結ガンバローで終了しました。

新幹線地本

新幹線地本は大崎・南部労働会館で第15回新幹線地方本部定期大会を開催しました。

冒頭、徳竹委員長は、「私たちの取り組みべき政治的課題は山積しており、消費税の10%への増税反対、原発再稼働問題、集団的自衛権の閣議決定問題、JRの安全を守る、安全安定輸送の取り組みなど多岐に渡っている。組織強化拡大を目標に職場では仕事総点検を推進して行こう。新幹線も50周年であるがわれわれも50周年であり、この



上から、静岡地本、新幹線地本、名古屋地本の各定期大会

50周年を迎えたのは私たちが仕事と労働条件改善の取り組みを行い、安全安定輸送を担ってきたからだ。50周年を祝いつつ引き続き組織強化拡大、仕事総点検運動の前進に総力を挙げて奮闘しよう」と呼びかけました。

討論では、「職場三大要求では各職場でアンケートに取り組み要求を提出した」「8月に労災が発生した。対策が求められている」「14春闘では組合員一人2行動を目標に延べ33人が行動に参加。組織拡大にも取り組んだ」等の職場状況報告と合わせて春闘、労働協約改訂での取り組みを中心に発言が出され、方針を全員で確認しました。

名古屋地本

名古屋地本は、節目となる第70回定期地方大会を開催しました。

来賓の樽松愛労連議長から、愛知での運動に幅広い団体が結

集していることに国労が努力していることへの謝意と期待が語られました。

代議員10名が発言。「国労に団結し、組織拡大に取り組みよう」「要員不足、超勤の実態を、1分でも超勤申請することで認めさせた」等、職場の問題や活動が報告されました。また、「沖縄知事選勝利のため地本として行動提起を」「安倍内閣の暴走を止めるために積極的に運動を」と改憲阻止、平和を守るため、積極的な運動を取り組むことを求める意見が相次ぎました。

リニア中央新幹線建設では問題が山積しており、今後の取り組みについて質問が出されました。

出された意見については、①安倍政権の暴走阻止に向け引き続き共闘を強める②リニア建設では、環境悪化などの諸問題について、国労の検討委員会の報告を学び、地域の運動等に生かす③組織拡大では全組合員で取り組む④安全・安定輸送、職場の労働条件の改善に向け、利用者アンケートなど利用者の声と結び、職場・地域から運動を取り組む等を確認し、方針を採択しました。

入院、地震、火災、交通事故…一度も経験しない人はいない。

自分の身に起こってからでは遅いのが災害です。何事も備えあれば憂いなし。あなたや家族の幸せを自然災害や人災から守るために、しっかりと組み合わせて幅広く保障します。



家族の幸せを災害から守る

火災共済/地震風水害共済/交通災害共済/生命共済/入院共済

東海共済株式会社

前号(第369号)でもお知らせしましたように、東海本部は、「15春闘ポスター」のスローガンを募集しています。

「15春闘ポスター」作製の目的は、春闘を組合員・家族、職場や関連職場で働く労働者にいち早く認識してもらい、ともに学び、ともに行動してもらうためのものです。そ

「15春闘ポスター」のスローガンを募集中

のポスターのスローガンを、組合員・家族の皆さんから幅広く募集します。最優秀の応募作品1点がポスターになります。また、最優秀作品には賞品を贈呈します。応募要項は以下のとおりです。

応募資格: 組合員とその家族。応募点数は何点でも可。

応募締め切り: 10月30日(金)まで。

応募先: スローガン(標語)と氏名、住所、電話番号、分会名を明記してメールかFAXで国労東海本部まで。

FAX 03-5403-1659 メールアドレス: nru-tk-tyk3@star.odn.ne.jp

「健康管理手帳」取得を奨励

会館 労働講座

アスベスト被害救済へ関心が高まる



労働講座ではアスベストによる健康被害への不安、対応について質問が多数、出された

9月20日、国鉄労働会館主催による労働講座を開催しました。「アスベスト被害の現状と健康管理手帳の申請について」と題し、神奈川労災職業病センターの池田理恵さんより講演を受けました。この学習会は、退職者の会と国労名古屋地本が参加を呼びかけ、50名が参加しました。講演では、鉄道のアスベストの使用状況、被害者救済の現状が語られました。アスベスト被害

害の救済については、国鉄での退職者は鉄道運輸支援機構が対応し、JRでの退職者についてはJRが対応するとなっています。JRが使用者としてアスベストに関わった職歴の証明に消極的な態度をとっており、課題となっていることが報告されました。「石綿に関する健康管理手帳」の取得について、被害の救済を進めるために積極的に取得していくことが奨励されました。

翌日、講師はリニア館を見学し、中京圏で走っていた国鉄・JRの車両のアスベストが使われていた箇所、部品などを細かく、確認しました。この見学では、名古屋工場の現役労働者が

原発の再稼働は絶対にさせない

「さようなら原発大集会」に1万6千人



「さようなら原発全国大集会」でデモに出発する国労東海の仲間たち

「川内原発再稼働するな!」「フクシマを忘れない!」を掲げ、23日に「9・23さようなら原発全国大集会」が東京・亀戸中央公園で「さようなら原発1000万署名市民の会」により開かれました。集会は当初、代々木公園での開催を予定していましたが、デング熱発生の影響で急ぎよ、会場を変更を余儀なくされました。そうした中でも、1万6000人が結集し、東海

本部も新幹線地本、静岡地本の仲間が参加しました。集会では、作家・文化人の多数の発言がありました。反原発・かごしまネット代表の向原祥隆さんは、地元・川内の取り組みを紹介しつつ、「住民は再稼働反対が圧倒的。未来を切り開くために絶対に再稼働させない。28日の鹿児島市での集会も応援してください」と訴えました。また、作家の大江健三郎さんは、「国民的な抵抗の声を上げねばならない」と強調しました。

集会終了後、参加者は亀戸中央公園から錦糸町駅までを「原発いらない」「再稼働は絶対反対」を訴えて、4時間に渡るデモ行進を元気よく行いました。

(報告・名古屋地本書記長 伊藤 耕二)

「がん」の保障		「生きる」を創る。Aflac	
＜生きるためのがん保険 Days(デイズ)＞		生きるためのがん保険 DAYS(デイズ) スタンダードプラン	
保険期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新) 契約年齢:0歳~80歳、スタンダードプラン 入院給付金日額10,000円の場合		2011年4月1日現在 入院給付金日額10,000円 定額タイプ保険料 払込期間:終身(抗がん剤治療特約は10年更新)	
初めて診断確定されたとき	がんの場合 診断給付金	一時金として 100万円	35歳 45歳 55歳 65歳
入院したとき	入院給付金	1日につき 10,000円	男性 3,656円 5,608円 9,360円 15,190円
通院したとき	通院給付金	1日につき 10,000円	女性 3,734円 5,274円 6,864円 9,048円
手術したとき	手術治療給付金	1回につき 20万円	
放射線治療を受けたとき	放射線治療給付金	1回につき 20万円	
抗がん剤治療を受けたとき	抗がん剤治療を受けた月ごとに 1カ月 乳がん・前立腺がんのホルモン療法するとき 1カ月	10万円 (すべての保険期間を通じて通算600万円まで) 5万円	
	プレミアムサポート	訪問面談サービスと専門医紹介(このサービスは、株式会社 法研が提供するサービスです)	